

関東鉄工

適用範囲		モデル名	KV15C		
適用範囲		適用号機	KV15C-3001~		
適用範囲		車体質量(空車状態) kg	1700		
区分	検査箇所	運用項目 ※測定条件、方法	単位	検査基準値	
エンジン	エンジン本体	回転速度ハイアイドルリング	min ⁻¹	2400 ^{±50}	
		ローアイドルリング	min-1	1350 ^{±50}	
		(冷却水温)	°C	(70 ~ 80)	
		(作動油温)	°C	(60 ~ 70)	
		潤滑油圧	kPa	197 ~ 441	
		(油温)	(kgf/cm ²)	(2.0 ~ 4.5)	
		(回転速度)	°C	(85 ~ 90)	
		弁すき間 吸気弁	min ⁻¹	(2400)	
		排気弁	mm	0.145 ~ 0.185	
		(測定時の条件)	mm	0.145 ~ 0.185	
		圧縮圧力	kPa	3730 ~ 4110	
		(冷却水温)	(kgf/cm ²)	(38 ~ 42)	
		(回転速度)	°C	(暖機後)	
			min-1	(200)	
走行性能		最高走行速度	km/h	10	
		(測定方法・条件)		(平地走行)	
油圧・走行装置	油圧ポンプ	ポンプ吐出量	L/min	42.84	
		ポンプ吐出圧	Mpa	36.7	
			(油温)	°C	(60 ~ 70)
	クラッチ又はトランスミッション油圧	ミッション潤滑油圧	kPa	—	
		クラッチ油圧	(kgf/cm ²)	(—)	
		クラッチ油圧	kPa	—	
			(kgf/cm ²)	(—)	
			ミッション油量	°C	—
			エンジン回転速度	min-1	—
	プロペラシャフト又はドライブチェーン	シャフトカップリング	N・m	—	
ボルト締め付けトルク		(kgf・m)	(—)		
		チェーンたるみ量	mm	—	
		チェーン押し付け力	N	—	
			(kgf)	(—)	
HST側ミッション	油圧回路のリリーフセット圧	MPa	34.3		
	油温	(kgf/cm ²)	(350)		
		°C	50 ^{±5}		
ホイール又はタイヤ	ホイールクリップナット	N・m	157		
	締め付けトルク	(kgf・m)	(16)		

振動ローラ(コンバインド)

適用範囲		最大荷重 t	1.8	
適用範囲		型式	KV15C	
適用範囲		適用号機	KV15C-3001~	
区分	検査箇所	運用項目 ※測定条件、方法	単位	検査基準値
操向装置	最小旋回半径	最小旋回半径又は最大切り角度	m	3.4
			度	—
制動装置	パワーステアリング装置	油圧回路のリリーフセット圧力	MPa	11.8
		油温	(kgf/cm ²)	(120)
			°C	50 ^{±5}
走行ブレーキ	HSTネガティブブレーキの場合はその旨を表示	HSTネガティブブレーキの場合はその旨を表示		HSTネガティブブレーキ(駐車ブレーキ兼用)
		ペダル遊びのストローク	mm	—
		踏込みストローク又は踏込み角度	mm	—
			度	—
		制動能力(制動距離：以内)	m	2
		制動初速度	km/h	(10)
		[ドラム式]		—
		ドラムとライニングのすき間	mm	—
		ドラムの内径	mm	—
		ライニングの厚さ	mm	—
バックプレート取付けナット締め付けトルク	N・m	—		
		(kgf・m)	(—)	
駐車ブレーキ	[ディスク式]	ディスクの厚さ	mm	—
		パッドの厚さ	mm	—
		ディスク取付けナット締め付けトルク	N・m	—
			(kgf・m)	(—)
駐車ブレーキ	制動能力(停止状態保持角度)	レバー操作式、スイッチ操作式はその旨を表示	度	11.3
		レバーストローク	mm	—
		ドラムとライニングのすき間	mm	—
作業装置	防振ゴム	取付けボルト締め付けトルク	N・m	157
			(kgf・m)	(16)
起振装置	油圧回路リリーフセット圧		MPa	17.5
		油温	(kgf/cm ²)	(178)
			°C	50 ^{±5}
特記事項			機械形式	コンバインド型振動ローラ
			エンジン形式	クボタD1305-K3A

注) 数値は新車基準値を示す